

日本共産党 足立区議団ニュース

発行会派 日本共産党足立区議団
住所 足立区中央本町1-17-1 足立区役所内
連絡先 3880-5770 e-mail:acmp@blue.ocn.ne.jp
区議団ホームページ http://www.adachi-jcp.jp/

足立区議会臨時会(5月29日)で 新しい議会の役職決まる

予算委員会の常任委員会化実現 特別委員会… 公共施設、温暖化、観光振興にかわい 公共財産、子ども施策委員会設置

5月29日、第一回足立区議会臨時会が開かれ、新しい議会の役職が決まりました。

予算委員会いままで新年度予算審議(2~3月)時に特別委員会を設置し、集中審議を行ってきました。今回、新たに常任委員会化することで、集中審議だけでなく、国会同様に、年間を通じて予算の執行管理などの審議ができるようになります。

特別委員会では、公共施設更新・再配置調査と温暖化対策調査、観光振興調査にかわり、公共財産調査と子ども施策に関する委員会が配置されました。これにより、今回10年ぶりに常任委員会(産業環境委員会)で委員長を担うことになりました。また建設、文教、予算、公共財産の各委員会で副委員長を担当します。日本共産党の議員の委員会配置は別表のとおりです。新議長には、鴨下稔(自民)、副議長には、きしまてるい(公明)の各議員に決まりました。新しい議会の構成のなかで、日



日本共産党区議団の委員会配置

●常任委員会

総務委員会(10名)	伊藤和彦
区民委員会(8名)	さとう純子
産業環境委員会(8名)	橋本ミチ子 ◎鈴木けんいち
厚生委員会(8名)	大島芳江 針谷みきお
建設委員会(8名)	○浅子けい子
文教委員会(8名)	○ぬかが和子
予算委員会(25名)	○伊藤和彦 ぬかが和子 さとう純子 浅子けい子

●特別委員会

交通網・都市基盤整備調査特別委員会(8名)	○針谷みきお
公共財産調査特別委員会(8名)	大島芳江 鈴木けんいち
子ども施策調査特別委員会(8名)	橋本ミチ子

◎委員長 ○副委員長

運営委員会	鈴木けんいち ぬかが和子
-------	-----------------

区議会第2回定例会

6月9日から24日まで

本会議は6月9日(火)

日本共産党からは、

さとう純子議員が質問にたちます

※質問時間は午後3時ごろです

- ★くらし・雇用・中小企業支援 ★特養ホーム・介護施設増設、保育所増設
- ★高齢者医療費負担軽減、医療ネット
- ★少人数学級、就学援助、教育環境整備など質問します。

本共産党議員団はいつそう区民の願いを実現させるためにがんばります。



○衆院でも決議が全会一致で採択されましたが、日本共産党もいち早く声明を出し、抗議しました



日本共産党の北朝鮮核実験への抗議文

日本共産党の志位和夫委員長は25日、国会内で記者会見し、北朝鮮の核実験に厳しく抗議する談話を発表しました。

一、北朝鮮政府は二十五日、核実験を強行した。それは、国連安保理決議一七一九や、北朝鮮が「一切の核兵器および現在の核計画を放棄」すると合意した六カ国協議共同声明（二〇〇五年九月十九日）にも明確に違反する暴挙である。

一、わが党は、北朝鮮の行動に対し、厳しく抗議する。わが党は、北朝鮮政府に対し、これ以上の核実験を厳に慎むこと、核兵器および核兵器開発計画を放棄すること、無条件で六カ国協議に復帰することを強く求める。

北朝鮮の核実験に対し厳重に抗議する決議

5月25日、北朝鮮は、2回目の地下核実験を強行した。度重なる核実験は、追加的な核実験を禁止した国際連合安全保障理事会決議第1718号や六者会合共同声明に明確に違反しており、国際的な核拡散防止体制に対する重大な挑戦である。世界の安全を脅かすこの暴挙は、断じて容認できるものではなく、強い憤りの念を禁じ得ない。

わが国は、広島・長崎への原爆投下により、人類未曾有の悲劇を経験しており、核兵器の廃絶を心から願っている。

平和と安全の都市宣言を行っている足立区においても、国際社会の平和と安全は区民共通の願いである。

よって足立区議会は、北朝鮮の核実験に対し厳重に抗議するとともに、北朝鮮が、六者会合に早期・無条件に復帰し、全ての核兵器及び核計画の放棄と、ミサイル、拉致などの問題解決にも誠実に対応するよう強く求めるものである。

以上、決議する。

平成21年5月29日

足立区議会

5月29日に開かれた臨時議会では、さきの「北朝鮮の核実験に対し厳重に抗議する決議」が、全会派一致で採択されました。その内容は、「平和と安全の都市宣言をしている足立区」の議会として、「六者会合に早期・無条件に復帰し、全ての核兵器及び核計画の放棄」を強く求めるものです。全文は、左記のとおりです。

来年度、高校・大学等に在学・進学予定の方へ 足立区奨学生採用候補者募集案内

足立区教育委員会では、将来、有用な人材を育成するため、平成22年度育英資金奨学生を、次の予約で募集します。

1、募集期間 平成21年6月9日(火)～6月30日(火)

2、貸付予定人員

- (1) 高校生 (高等学校・高等専門学校及び専修学校等課程) 35名程度
- (2) 大学生 (大学・短期大学・専修学校専門課程) …… 35名程度

3、応募資格

- (1) 平成22年4月1日時点で、足立区内に引き続き1年以上居住していること。
- (2) 心身ともに健全で、学業成績が優秀であること。
- (3) 経済的理由で学資金の支払いが困難であり、同種の学資金を他から借り受けていないこと。
- (4) 貸付の際に、下記①及び②の連帯保証人をそれぞれ1人立てられること。
 - ①保護者又は後見人 ②一定の職業をもち又は独立の生計を営み、貸付終了時の年齢が65歳以下または、そのうち1人は貸付日の3年前から引き続き足立区内に居住していること。
- (5) 都内又は通学可能な近県に所在する下記①～④のいずれかに在学していること(平成22年度入学予定者を含む)。
 - ①大学 ②高等学校 ③高等専門学校 ④専修学校(修業年限2年以上の専門課程及び大学入学の資格を得られる修業年限3年以上の高等課程)



4、貸付金額と期間 (1) 修学資金貸額と入学資金 (平成22年度)

※入学資金を含む最初の振込みは平成22年4月中旬になりますのでご了承願います。

	国立・公立学校	私立学校	学校
	入学資金	修学資金	入学資金 修学資金
高校生	70,000円	13,000円	150,000円 30,000円
大学生	200,000円	35,000円	300,000円 45,000円